

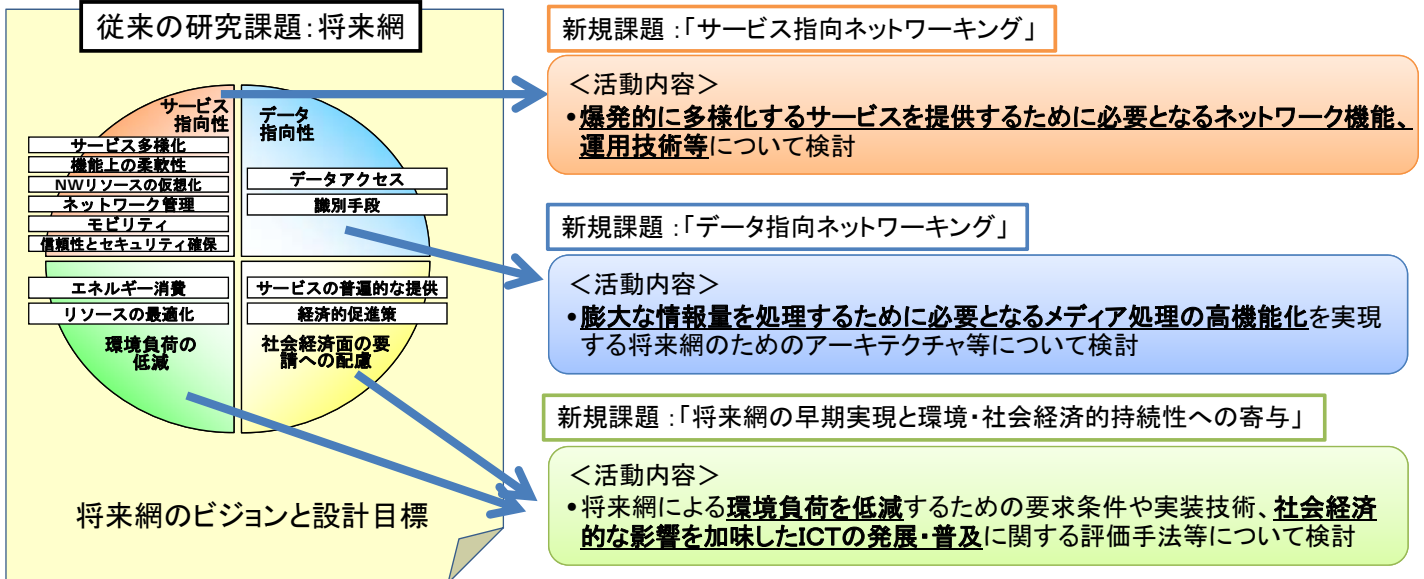
承認された次研究課題の例
将来網(新世代ネットワーク)の研究推進

別紙1

- 国際電気通信連合 (ITU) では、IPネットワーク等の既存技術の制約にとらわれない新しい設計思想・技術に基づく将来網 (新世代ネットワーク) の実現に向けた標準化活動が行われている。
- 次期研究会期 (2013～2016年) では、将来網に関する国際標準化活動を効率・効果的に推進するため、従来の1つの研究課題を3つの研究課題に強化・拡充。

今研究会期(2009～2012年)

次研究会期(2013～2016年)



承認された勧告

別紙2

提案元 SG	勧告番号	勧告対象	概要
3	D.195 [改訂勧告]	国際電気通信サービスの精算のための時間計算	国際電話の料金等を、接続先電気通信事業者に請求する際、計算書送付及びその内容についての異議申し立て期間を、料金が発生した日の月末から50日を原則30日に短縮するもの。
13	Y.2770 [新勧告]	トラフィックの識別制御技術	通信トラフィックのメディア特性(音声電話、メール、動画等)に合わせた伝送制御を可能とすることでネット混雑の予防や緩和等を目的として、通信の宛先に加えて上位層のプロトコルの情報についても識別し、それに基づいて制御処理を行う技術を規定したもの。
15	G.8113.1 [新勧告]	高速・大容量データ転送プロトコルの保守運用機能	既存専用線網の技術を利用した高速・大容量通信を行うため、高速・大容量データ転送プロトコルとして、既存の回線交換網に必要な保守運用機能等を記述した新たなプロトコルを規定したもの。
	G.8113.2 [新勧告]	高速・大容量データ転送プロトコルの保守運用機能	既存パケット網の技術との互換性を保ちながら高速・大容量通信を行うため、高速・大容量データ転送プロトコルとして、上記G.8113.1とほぼ同等な保守運用機能等を規定したもの。
	G.9980 [新勧告]	ホームネットワーク端末遠隔管理 技術	スマートグリッドを構成するHEMSに接続された宅内の個々の装置をブロードバンド回線経由で遠隔制御する技術に関する勧告案。ユーザ管理、品質管理、障害診断、ソフトウェア・ファームウェア管理等の機能を規定したもの。
	G.9901 [新勧告]	スマートグリッド用電力線通信技術の技術的条件	スマートグリッドに利用されるPLC(Power Line Communications: 電力線を利用した通信)技術の関連標準を体系的に整理、見直した勧告案。PLC全般に共通する技術的条件、方式毎に異なる技術的条件(電力特性等)をそれぞれ別個の標準として規定し、複数の方式が共存しても利用可能な環境を整備するもの。